

「アライグマ対策技術セミナー」 開催のお知らせ

今日、アライグマは日本全土に分布を拡大し、その旺盛な繁殖力と行動能力の高さから、自然生態系、農業、水産業、文化財や一般民家に様々な被害を与えています。さらに、アライグマによる病気の伝搬も懸念されており、速やかな個体数削減のための有効な捕獲技術や被害防止技術の開発が望まれています。そこで、現場で活躍している方々を講師にお招きし、「アライグマ対策技術セミナー」を開催いたします。

1. 日本と同じく外来アライグマの被害を受けているドイツのカッセル市でアライグマの捕獲やアライグマの侵入防止に活躍している、フランク・ベッカー氏とドイツの森林保護官のポール・ケーニッヒさんをお招きして、ドイツの現状や最新対策技術をお聞きます。
2. 大山崎町、長岡京市、向日市の社寺にアライグマが侵入しています。現状をご紹介します。また、アライグマの対策実例や効果的な捕獲方法をご紹介します。

開催日時： 2012年2月18日（土曜日）

開催場所：京都府大山崎町立 「大山崎ふるさとセンター」

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字竜光3 （電話 075-956-2310）

最寄り駅：阪急大山崎駅すぐ JR山崎駅すぐ 西国街道沿い

入場無料：先着順でご入場いただきます。 定員100名どなたでも参加できます。

お問い合わせ先：電話・FAX 075-551-3936 かメール chipmunk@h5.dion.ne.jp 川道まで

主催：関西野生生物研究所

このセミナーは平成23年度日本経団連自然保護基金と

平成23年度京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金の助成を受けて開催されます。

プログラム

開会挨拶 関西野生生物研究所

総合司会 川道武男氏（関西野生生物研究所）

13:30-13:50 アライグマの行動生態とその被害と対策の現状

川道美枝子氏（関西野生生物研究所）

13:50-14:10 大山崎町、長岡京市、向日市のアライグマの状況

山本憲一氏（関西野生生物研究所）

14:10-14:40 休憩

休憩の間、ドイツや日本で使われている様々な形状の罠を会場に展示します。

14:40-16:40 ドイツのアライグマ対策（通訳 阿部範成氏）

フランク・ベッカー氏（Waschbaerschutz Frank Becker）

ポール・ケーニッヒ氏（ドイツ森林保護官）

16:40-17:10 アライグマ対策の現場から

川勝洋太氏（京都府亀岡市経済部農林整備課）

17:10-17:30 質疑 17:30閉会

協力：IUCN日本プロジェクトオフィス、生物多様性JAPAN、サージミヤワキ、
防除研究所、Waschbaerschutz



雪上のアライグマ
の足跡

